

令和5年度運営指導について

目次

1. 運営指導について	2
A) 概要	2
B) 実施の頻度等について	2
C) 令和 5 年度における実施状況	2
D) 令和 5 年度運営指導における指摘事項等	3
E) 令和 5 年度運営指導総括	17
F) 有料老人ホーム等を併設している事業所について	17
G) 令和 6 年度運営指導について	17
2. 業務管理体制検査について	18
3. 監査について	18

1. 運営指導について

A) 概要

運営指導の目的は、市内事業者全体における制度の適切な運用を担保し、不正行為による指定取消等の未然防止を図るためのものです。これを定期的実施し、介護事業者各位の自主的かつ継続的な改善の定着を支援します。つきましては、介護事業者各位の御理解と御協力をお願いします。

B) 実施の頻度等について

米沢市内の居宅介護支援事業所および地域密着型サービス事業者に対して、3年に1回(指定期間中に2回)を目安としています。実施日1か月前に通知を行いますが、事前にお電話にて日程調整を行いますので御承知おきください。

C) 令和5年度における実施状況

令和5年度は、居宅介護支援事業所および地域密着型サービス事業者、総合事業(訪問型サービス事業者)のうち24事業者に対して実施しました。

D) 令和 5 年度運営指導における指摘事項等

【是正改善事項】

No.	サービス種別	区 分	指 導 内 容
1	居宅介護支援	運営基準	契約書の「解約金」に関する記載が既に削除されていることについて、利用者の不利益に関わることだが、十分な説明を行っていない。
2	居宅介護支援	人員基準	<p>【管理者の主任介護支援専門員資格の欠如について】※主任介護支援専門員として一度管理者に就任したが、その後有効期間切れとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主任介護支援専門員を増員しない場合、1年間事業を休止し、その間に主任介護支援専門員の資格を取得してください。なお、休止に当たっては、他の居宅介護支援事業所へ全利用者の引継ぎを行ってください。 ● 主任介護支援専門員を増員する場合、その者を管理者とするようにしてください。
3	認知症対応型共同生活介護	人員基準	<p>【人員基準欠如について】</p> <p>勤務表や出勤簿、聞き取りから、日中の時間帯において、条例第54条第1項に定める員数を置いていることが確認されました。返還や人員確保等すみやかに対応してください。</p> <p>貴事業所からの是正改善報告後に、再度訪問し、是正改善報告の整合性や人員基準を満たしているか確認する場合があります。虚偽の報告をしていた場合、指定を取り消すことがありますので、十分に確認いただき、適切に対応いただくようお願いいたします。</p>
4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	報酬基準	<p>サービス提供体制強化加算Ⅰの算定要件を満たしていないことが確認されましたので、過誤申請を行い、該当期間の加算請求額を返還してください。</p> <p>また、当該加算の算定をⅠからⅡへと変更する必要があることから、介護給付費算定に係る体制等に関する届出書を速やかに御提出ください。</p>
5	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【利用者からの求めに応じ、訪問介護員が利用者から金銭を預かり、プラン外の買い物支援を行ったことについて】</p> <p>プラン上は、「掃除・調理等」を提供することが位置付けられている日に、利用者からの依頼に基づき、会社に相談せず訪問介護員の判断で買い物支援を行ったことを聞き取りにより確認しました。会社の定めによればプラン外の依頼があった場合にはまず管理者に報告・相談し、対応方法について判断を仰ぐことになっています。今後、同様の事態が生じないよう、職員に対し対応マニュアル等の研修を行ってください。</p>

6	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【利用者から金銭を預かり買い物支援を行った際に、レシートやお釣りの管理について適正さを欠いたこと】</p> <p>利用者から預かった金銭について疑義が生じることは、事業所に対する信用失墜に留まらず、介護保険制度全体に対する不信感を生みかねません。事業所では、買い物支援の際、買った品物のレシートや授受した金額及び釣銭の額をノートに記録することとなっていますので、この取り扱いを全職員に徹底するよう指導を行ってください。また、管理者は定期的にレシートを貼りつけたノートを点検するなど再発防止に努めてください。</p>
7	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【訪問介護計画の提供が、契約を結んでから 3 カ月後に提供されたことについて】</p> <p>訪問介護計画は、作成したら遅滞なく利用者に交付しなければならないこととなっています。利用者は、プランに位置付けられた訪問介護が、計画どおりに提供されているかを知る権利があります。</p> <p>よって、今後は、遅滞なく訪問介護計画を提供してください。また、利用者の同意日は、実際に交付し説明を行った日で作成し、訪問介護計画の交付が遅れた理由を書面で必ず残すようにしてください。</p>
8	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【利用者に代わって署名等を行うことについて】</p> <p>利用者に代わって書類に署名等を行うことはあってはならないことです。今後同様の事態が起こることがないように、職員に対する指導の徹底をしてください。</p>

【指導事項】

No.	サービス種別	区 分	指 導 内 容
1	共通	運営基準	重要事項説明書・契約書について、署名日が空欄になっています。同意の際、署名だけでなく署名日も忘れずに記載してもらうようにして下さい。
2	共通	運営基準	運営規程の誤字・脱字について修正してください。
3	共通	運営基準	運営規程・重要事項説明書について、特定の市町村名が記載されていました。利用者にとって、担当の市町村は異なるため、「保険者」もしくは「市町村」といった文言に修正してください。
4	居宅介護支援	運営基準	<p>【モニタリング】</p> <p>記録を拝見したところ、「〇月〇日 施設訪問」等とゴム印が押してあり、簡単な聞き取り内容やご利用者の様子などが書いてありました。この記録から、月に1回、モニタリングを実施している事実はわかりますが、居宅サービス計画のとおりサービス提供を行った結果、どのように改善に向かっているのかが読み取れませんでした。また、どこで、誰から聴取した情報なのかも記録が不足していました。</p> <p>モニタリングは、「少なくとも1月に1回は利用者の居宅で面接を行い、かつ、少なくとも1月に1回はモニタリングの結果を記録することが必要である。」とされています。モニタリングの必要事項を満たしていなければ減算の対象になる場合があります。御自身のリスク管理のためにも、より丁寧なモニタリングの記録を実施してください。</p>
5	居宅介護支援	運営基準	研修計画・実施記録を PC 内保管の場合、すぐに確認が取れる体制を整えてください。
6	居宅介護支援	運営基準	事故対応マニュアルを作成してください。「発生するかどうかわからない・発生する可能性が低い」からこそ、いざ発生した場合、適切に対応するためのマニュアルが必要となります。事故対応マニュアルを作成し、事業所内で共有してください。
7	居宅介護支援	運営基準	「運営規定」→「運営規程」に修正してください。
8	居宅介護支援	運営基準	各サービス担当者からの個別サービス計画を個人ファイルに綴じるようにしてください。
9	居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護	運営基準	<p>【受給資格等の確認】</p> <p>更新後の介護保険被保険者証や介護保険負担割合証が綴られていない方がいました。すぐに確認できるよう個人ファイルに綴じるようにしてください。</p>
10	居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護	運営基準	個人情報同意書が見当たらない方がいました。すみやかに手配してください。

11	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【フェイスシートについて】</p> <p>本人の今までの経歴や生活履歴に関わる記載がありませんでした。アセスメントをする上で重要な事項になると思いますので、記載するようにしてください。</p>
12	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【居宅サービス計画書の記載について】</p> <p>生活全般の解決すべき課題や目標について、排泄や失禁等の専門的な言葉を用いて表現されているため、本人にはわかりにくい内容になっているように思いました。本人が目標にできるわかりやすい言葉で表現するようにしてください。</p> <p>ニーズに対する長期目標と短期目標が全部同じ内容になっているものがありました。短期目標は長期目標を、長期目標はニーズを達成するための内容となるように記載してください。また、短期目標の終期が明記されておりませんでしたので、記載するようにしてください。</p>
13	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【第3表の記載について】</p> <p>週単位以外のサービスの欄に、提供される福祉用具についての記載がないものがありましたので、具体的に明記しておくようにしてください。</p>
14	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【居宅介護支援経過について】</p> <p>居宅介護支援経過に居宅サービス計画書を本人に交付したことが記録されていませんでした。居宅介護支援経過は、介護支援専門員が適切にケアマネジメント業務を遂行している根拠となる記録ですので、漏れなく簡潔かつ明瞭に記録するようにしてください。</p>
15	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【モニタリングについて】</p> <p>居宅介護支援経過に記載された本人の状態と直近のモニタリングの「サービスの実行確認」とで矛盾が感じられる部分が見受けられました。</p> <p>モニタリングは、サービスの効果の評価や利用者の状況に応じた修正、リスク管理を目的として行う重要なものですので、聞き取りは正確に行ってください。</p>
16	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【ケアプランの見直しについて】</p> <p>本人の身体状態に悪化が見られることで居宅サービス計画書第1表・第2票の目標、援助内容や同期間について見直しや変更の必要性が生じた場合、若しくは生活全般の解決すべき課題に変化が生じる場合は、目標期間の終期を待たずに、又は介護サービス内容の変更の有無に関わらず、プランの修正が必要と考えます。常に本人の状態や状況に合ったケアプランになるよう御留意ください。</p>
17	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【居宅サービス計画表について】</p> <p>生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果が記載されていないものがありました。利用者</p>

			の主訴や相談内容を踏まえた利用者の持っている力や生活環境等の評価を含め利用者が持っている問題点を明らかにしていくことで、「自立支援」に資するために解決しなければいけない課題が把握できることとなりますので、記載するようにしてください。
18	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【居宅サービス計画書(2)について】</p> <p>生活全般の解決すべき課題や目標について、「起居動作」や「言語での意思疎通の機会」「清潔保持」等の専門的な言葉を用いて表現されているため、本人にはわかりにくい内容になっているように思いました。本人が目標にできるわかりやすい言葉で表現するようにしてください。</p> <p>また、生活全般に解決すべき課題(ニーズ)について、利用者の身体状況から検討された、身体機能の低下を防ぎ状態維持を保つための課題が掲げられておりますが、それに加えて、本人の趣味や外出、社会参加等の本人の強みや可能性が生かされる課題(ニーズ)を盛り込んではいかがでしょうか。より自立支援につながるプランになると考えます。</p>
19	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【訪問看護等医療系サービスの利用について】</p> <p>居宅介護支援経過に居宅サービス計画書を医師に交付したことが記録されていませんでしたので記録してください。</p>
20	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【第2表生活全般の解決すべき課題について】</p> <p>生活全般の解決すべき課題の中で、意向のみを記載してあるものが見受けられました。記載要領では、「利用者の自立を阻害する要因等であって、個々の解決すべき課題(ニーズ)についてその相互関係をも含めて明らかにし、それを解決するための要点がどこにあるかを分析し、その波及する効果を予測して原則として優先度合いが高いものから順に記載する(一部抜粋)」とありますので、課題整理総括表等を用いながら利用者のもつ個々のニーズを明らかにし、自立の阻害要因を明確にしていただければと思います。</p>
21	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【第3表週間サービス計画表の記載について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主な日常生活上の活動の欄が空白である事例が見受けられました。この欄には、利用者の平均的な一日の過ごし方をできるだけ具体的に記載していただければと思います。記載することでその人らしい生活のリズムを基本においたサービス内容・日時の組み立て、配慮すべき留意点に対応することが可能となります。また、週単位以外のサービスに医療機関への受診も補足していただけると尚、利用者の生活リズムが見えてくるかと思っておりますので、御検討ください。 ● 「日常生活上の活動」欄の記載がないケースが見られました。この欄を記載することで、利用者の生活を利用者自身・家族・ケアチームが把握することができるようになります。また、その人らしい生活のリズムを基本においたサービス提供の組み立てや配慮すべき留意点に対応

			することが可能となります。その他、通院等の家族介護などについても記載することで利用者を支える生活全体が分かるようになります。
22	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【サービス事業所の選定について】</p> <p>入所先から、利用する介護サービスを同事業所内の事業所に限定する条件があったことについては、本来は個人が望む介護サービスを自由に選択できるものであり、本人の希望や身体状態にあった介護事業所の選択がなされるべきでした。今後は、本人の希望等を踏まえた上で、サービス事業所を変更する必要性がないか検討してください。</p>
23	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【サービス利用票(第6表)について】</p> <p>作成日や届出年月日が記載されていないものがありましたので、記載するようにしてください。現在は、サービス利用票の確認欄が廃止されておりますが、利用者確認は必要となりますので、居宅介護支援事業者が保存するサービス利用票(控)に利用者の確認(押印やサイン)を受けるようにしてください。(介護保険最新情報 Vol.958)</p>
24	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【セルフケアの位置づけについて】</p> <p>利用者本人の残存機能を活用し、できることの拡大を図るためには、サービス内容にセルフケアを位置付けることが重要です。目標実現・課題解決のために、利用者本人がしていること・できることを少しでも見つけ、セルフケアとして積極的に位置付けるようにしてください。</p>
25	居宅介護支援	ケアプラン等	<p>【モニタリング表の記載について】</p> <p>モニタリングの総括が1表「総合的な援助の方針」と同じ内容であるケースが見受けられました。前回のモニタリング時と大きな変化が見られずとも、モニタリング時の本人の状態・様子が全く同じであるのではないと考えます。「総合的な援助の方針」は、ケアチームの目的や指針となる部分です。介護支援専門員自身の視点・言葉でモニタリングの総括を記載してください。</p>
26	居宅介護支援、看護小規模多機能型居宅介護	ケアプラン等	<p>【短期目標の達成期間の設定について】</p> <p>短期目標は解決すべき課題及び長期目標に段階的に対応し解決に結びつけるものであるとされていることから、目標の達成期間を設け、モニタリングの目安とすることが重要です。利用者自身の目標として認識するとともに利用者とケア側の共通の認識とすることができるよう、期間をケアプランに設定するようにしてください。</p> <p>また、すべての短期目標に期間が設定できないということは、短期目標がやや抽象的な目標である可能性もありますので、個別性のある具体的な目標となっているか、達成できないような目標となっていないか、今後検討していただければと思います。</p>

27	定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	報酬基準	【処遇改善加算について】 全職員に処遇改善計画書と処遇改善実績報告書の内容を周知するようにしてください。周知の方法としては、計画書、実績報告書の掲示、回覧、会議等の場での説明等が考えられますが、御負担の少ない方法で行ってください。
28	定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	報酬基準	【サービス提供体制強化加算について】 毎月人員の計算を行い、加算の要件を満たしているか確認するようにしてください。
29	認知症対応型共同生活介護	運営基準	身体的拘束の適正化検討委員会名簿について、最新の名簿に更新してください。
30	認知症対応型共同生活介護	運営基準	【非常時災害対応マニュアル(対応計画)について】 <ul style="list-style-type: none"> ● 火災以外の災害対応マニュアルがありませんでした。他の災害にも対応した「非常時災害対応マニュアル(対応計画)」を作成してください。 ● 火災・水害以外の災害対応マニュアルがありませんでした。他の災害にも対応した「非常時災害対応マニュアル(対応計画)」を作成してください。 ● 災害別にマニュアルを整理する等、災害時に速やかに確認できるよう整理してください。
31	認知症対応型共同生活介護	運営基準	【身体的拘束の適正化検討委員会について】 3か月に1回以上、開催することとなっておりますので、定期的に開催するようお願いいたします。なお、関係する職種、取り扱う事項等が相互に関係が深いと認められる他の会議体を設置している場合、これと一体的に設置・運営することとして差し支えありません。
32	認知症対応型共同生活介護	運営基準	【運営規程について】 「特別な理由のない限り身体拘束は行わない」→「身体拘束は行わない」に修正してください。
33	認知症対応型共同生活介護	運営基準	苦情に対し速やかにかつ適切に対応できるよう、苦情対応マニュアルを作成してください。
34	認知症対応型共同生活介護	人員基準	計画作成担当者に必要な研修の修了書を、事業所内にも保管しておくようお願いいたします。
35	認知症対応型共同生活介護	ケアプラン等	【目標の設定について】 短期目標は長期目標を達成するために段階的に計画する具体的な活動の目標となります。長期目標と短期目標が重複しているものがありましたので、短期目標が長期目標達成に向けた段階的な目標になっているかどうかについて確認してください。
36	認知症対応型共同生活介護	ケアプラン等	【セルフケアの記載について】 サービス内容に施設や医療機関が提供するものしか記載されておらず、利用者自身によるものが見受けられませんでした。本人の自立意欲醸成のためにも、セルフケアの視点を盛り込むようにしてください。

37	認知症対応型共同生活介護	ケアプラン等	<p>【施設サービス計画書(1)の記載について】</p> <p>家族の生活に対する意向の部分で、夫と長男の意向がまとめて記載されているケースが見受けられました。複数の家族に意向を確認されたのであれば、それぞれ意向が異なる場合があるので分けて記載していただければと思います。</p> <p>また、利用者及び家族の生活に対する意向の記載は見受けられましたが、それを踏まえた課題分析の結果の記載が見受けられないケースがありました。利用者・家族の生活に対する意向を把握し、利用者(家族)なりに自分の課題をどれだけ自覚・認識しているのかを確認したうえで、持っている力や可能性を考慮し、実現可能性の高い理想像・未来像を記載してください。</p>
38	認知症対応型共同生活介護	ケアプラン等	<p>【第2表のサービス内容と担当者について】</p> <p>担当者の欄には、本人の記載が必要です。本人の役割が重要となりますので、本人が行う内容も記入してください。</p>
39	小規模多機能型居宅介護	ケアプラン等	<p>【居宅サービス計画書の記載について】</p> <p>生活全般の解決すべき課題や目標について、介護する側の視点から捉えた専門的な言葉を用いて表現されているため、本人にはわかりにくい内容になっているように思いました。本人にわかりやすい言葉で表現するようにしてください。</p> <p>長期目標に対する短期目標の内容に合致していないものがありましたので、短期目標は長期目標を達成するための内容となるように記載してください。また、短期目標の終期が明記されておりましたので、記載するようにしてください。</p> <p>計画書の中に本人に関する記載がほとんど見当たりませんでした。本人の自立支援につながるプランにするためにも、本人ができることや行っていること、参加していること等について、本人の役割を明記するようにしてください。</p>
40	小規模多機能型居宅介護	ケアプラン等	<p>【第3表に記載について】</p> <p>週単位以外のサービスの欄に、提供される福祉用具についての記載がありませんでしたので、具体的に明記しておくようにしてください。</p>
41	小規模多機能型居宅介護	ケアプラン等	<p>【小規模多機能型居宅サービス計画書(1)・利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果の記載について】</p> <p>利用者及び家族の生活に対する意向の記載は見受けられましたが、それを踏まえた課題分析の結果の記載が見受けられないケースがありました。利用者・家族の生活に対する意向を把握し、利用者(家族)なりに自分の課題をどれだけ自覚・認識しているのかを確認したうえで、持って</p>

			いる力や可能性を考慮し、実現可能性の高い理想像・未来像を記載してください。
42	小規模多機能型居宅介護	ケアプラン等	<p>【小規模多機能型居宅サービス計画書(2)の記載について】</p> <p>小規模多機能型居宅介護サービス計画書(2)の中でサービス種別を本人としてセルフケアの位置づけがされていることは良いと思いますが、表現が事業所側の視点になっているように思われます。事業所と本人は分けて、本人ができることや行っていること、参加していること等について、本人の役割を本人視点で明記するようにしてください。</p>
43	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【訪問介護と保険外サービスを組み合わせて提供する場合の取扱い】</p> <p>介護報酬の解釈2(指定基準編)中 1444 ページにおいて、「訪問介護と保険外サービスを組み合わせて提供する場合には、保険外サービスを訪問介護と明確に区分することが必要である」とされています。今回の事例では、介護保険の訪問型サービス給付の対象日に、プランに位置付けられていない買い物支援を行っていた事実を確認しました。</p> <p>訪問型サービス費(総合事業費)は、月額報酬として給付されるため保険外サービスと訪問介護を明確に分けることはできず過誤の対象にはなりません、プランに位置付けられていないサービスを提供することは認められません。今後同様の事例が発生した場合には、介護支援専門員と十分に連携を取りつつ、プランの見直し等を行った上で適切にサービス提供を行ってください。</p>
44	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【利用者の好みに合わない食事を提供したことについて】</p> <p>味の濃い料理や、辛い食べ物を本人の意に反して提供していたとのことですが、利用者の要望や意向を汲んで提供するように心掛けてください。</p>
45	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【サービス提供後に居座り、茶菓等の提供を受けていたこと】</p> <p>訪問介護サービスの提供が終了したら、速やかに利用者宅を辞することを徹底してください。</p>
46	総合事業(訪問型サービス)	運営基準	<p>【利用者が提供した果実を持ち帰ったことについて】</p> <p>利用者が供した果実について、「半分持ち帰ってよい」との言葉を受けて持ち帰ったとのことですが、そもそもこのような行為自体を容認すべきではありません。貴法人の倫理に照らし合わせて、職員に対し改めて指導の徹底をお願いします。</p>

【検討事項】

No.	サービス種別	区 分	指 導 内 容
1	共通	運営基準	【運営規程について】 「虐待の防止のための措置に関する事項」についての規定が、令和6年4月1日から義務化となります。忘れずに変更をお願いいたします。
2	共通	運営基準	【契約書の押印について】 契約書に契約者の押印が見られました。令和2年度より契約書への契約者の押印を省略可とする通知が国から発出されておりますので、押印の省略について検討してください。
3	居宅介護支援	運営基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人ファイルの中が書類で多くなるようでしたら、少なくとも最新のものを綴り、古いものは別で保管する等、ファイルの整理をしていただくと良いかと思います。 ● 加算関係の書類を利用者ごとに個別にファイリングされておりますが、他の書類に紛れていて見つけにくくなっておりました。つきましては、インデックスを作成する等の見やすくする工夫を行ってください。
4	居宅介護支援	運営基準	損害賠償すべき事故が発生した場合、速やかに対応するために、損害賠償に対する対策(保険の加入等)を検討してください。
5	居宅介護支援	運営基準	苦情の記録については、すみやかに確認できるよう、専用の記録簿を作ったほうが良いと思いました。御検討ください。
6	居宅介護支援	ケアプラン等	【モニタリング実践記録表について】 介護支援専門員による特記事項の記載がありませんが、本人の身体状況の変化やサービスを利用しての状態維持に関する内容等について、専門職の視点から捉えた内容を記載し記録しておいてはいかがでしょうか。
7	居宅介護支援	ケアプラン等	【課題分析(アセスメント)について】 課題分析項目については、課題標準項目(23項目)が網羅されており、それぞれの分析結果は記載されておりますが、それに加えて、課題分析結果全体をまとめたアセスメントが行われると、更に良いケアプラン作成へとつながるものと考えます。
8	認知症対応型共同生活介護	運営基準	身体的拘束の適正化検討委員会について、第三者を委員に加えることを検討してください。
9	認知症対応型共同生活介護	運営基準	令和6年4月1日から「感染症予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会」の開催が義務化となりますので、準備を進めておくようお願いいたします。

10	認知症対応型共同生活介護	運営基準	<p>【運営規程について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非常災害対策の中に、利用者の急変時の対応について定めていますが、非常災害対策に当たらないため、「その他運営に関する注意事項」に変更を御検討ください。 ● 「山形県長寿社会政策課」ではなく「高齢者支援課」が正しい名称です。課名の変更は今後もありうるため、「山形県」と表記することを御検討ください。
11	認知症対応型共同生活介護	報酬基準	<p>【入院時費用の算定について】</p> <p>入院時費用の算定要件を満たしていながらも、利用者負担の増加を懸念して算定していなかったということですが、要件を満たしている以上、算定して差し支えないものと思われます。</p>
12	認知症対応型共同生活介護	ケアプラン等	<p>【本人の強みについて】</p> <p>強みについては「穏やかなところ」という回答もありましたが、御本人が持つ能力・経験・やさしさ等の内的な強みに目を向けプランに組み込むことで、より個別性のある、御本人に寄り添ったプランを目指してはいかがでしょうか。</p>
13	認知症対応型共同生活介護	ケアプラン等	<p>【プランへのセルフケアの記載について】</p> <p>職員さんが声掛けして行うトントン体操や家事のお手伝いをすることで本人のケアにつながっていると思いますが、利用者本人が体のつらい部分を和らげるために御自身で体操等を行うことでより良い生活が過ごせるセルフケアも御検討ください。</p>
14	小規模多機能型居宅介護	ケアプラン等	<p>【サービス担当者会議について】</p> <p>小規模多機能型居宅介護事業所からは計画作成担当者のみの参加となっており、小規模多機能型居宅介護サービスに携わる担当職員が参加されておりました。様々な視点から検討や確認を行うためには、担い手が一同に会した検討会とするのが原則的な考え方になりますので、介護サービス担当者の参加についても御検討ください。</p>
15	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	運営基準	<p>【外部評価について】</p> <p>年に1回以上、外部評価を行うこととなっております。忘れずに行ってください。</p>
16	定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護	運営基準	<p>「業務継続計画の策定等」、「感染症の予防及びまん延防止のための措置」、「虐待防止に係る措置」等、令和6年4月1日から義務化になるものについて、漏れがないよう御準備ください。</p>
17	看護小規模多機能型居宅介護	運営基準	<p>介護相談員の受け入れについて、御協力いただくようお願いいたします。</p>

【良かった点】

No.	サービス種別	区 分	指 導 内 容
1	居宅介護支援	運営基準	<p>【各種マニュアルについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 厚生労働省等の資料を活用し、見やすい工夫がされておりました。どのマニュアルも緊急時に素早く確認できる内容でしたので、今後もこうした内容のマニュアル作成を継続していただければと思います。 ● 見やすく整理されており、非常に良かったです。
2	居宅介護支援	運営基準	積極的に研修に参加していることが確認できました。今後も、資質向上のため、多くの研修に参加していただければと思います。
3	居宅介護支援	運営基準	<p>【他法人事業所との事例検討会について】</p> <p>今年度からの新たな取り組みとして、地域課題の検討を行い、介護支援専門員連絡協議会に検討した課題の内容を共有したことが素晴らしいと思いました。今後も地域に寄り添い、他事業所と連携しながら課題を解決していけるような活動に努めていってください。</p>
4	居宅介護支援	運営基準	<p>【モニタリングについて】</p> <p>利用者本人の意思、課題、習慣等が明確に記録されており、わかりやすく書かれておりました。今後もこのような書き方を継続してください。</p>
5	居宅介護支援	運営基準	<p>【ケアプランチェック確認票について】</p> <p>書類漏れを防ぐための活用として、とても良いと思いました。今後も継続して活用いただければと思います。</p>
6	居宅介護支援	報酬基準	様々な記録を見たり、聞き取りをしたりする中で、利用者のニーズを正確に掴み、ケアプランに反映しようとする意識が強く感じられました。今後、ターミナルケアマネジメントを行う予定があるとのことでしたので、そうした強みを十分に活かしたうえで行っていただければと思います。
7	居宅介護支援	報酬基準	記録の確認や聞き取りを行う中で、医療機関との連携を大事にされていると感じました。利用者の方々の変化等に応じ、すぐに医療機関との連携を行える点は大きな強みであると感じます。そうした強みを今後予定されているターミナルケアマネジメント等に活かしていただければと思います。

8	居宅介護支援	報酬基準	<p>【24時間連絡体制について】</p> <p>緊急時電話対応ファイルに通話記録を残し、いつ誰が誰とどんなやり取りをしたのかがすぐにわかるようにしていることが良いと思いました。普段の確認にも有効ですが、トラブルなどがあつた際の事実関係の確認にも役立つと思われますので、今後もこの取り組みを継続してください。</p>
9	小規模多機能型居宅介護	運営基準	<p>【芋煮会に合わせた交流会について】</p> <p>ご利用者様とご家族様の交流を深めるための芋煮会開催に合わせて、地域の方が気軽に介護について相談できるコーナーを設置されたことは、介護に悩んだときに相談できる場所があることを周知する意味でも素晴らしい取り組みだと思います。今後も継続して地域密着型ならではのサービス提供を継続してください。</p>
10	小規模多機能型居宅介護	運営基準	<p>【事業所で作成した広告について】</p> <p>一般の方には、「小規模多機能型」とはどのようなサービスなのかわかりにくい部分がありますが、事業所様で独自に作成された広告では、簡潔にわかりやすくどのようなサービスを受けられるのかがまとまっていました。ご利用者様が抱える不安を解消できるよう丁寧なサービス提供を継続してください。</p>
11	認知症対応型共同生活介護	運営基準	<p>【薬の管理について】</p> <p>薬の収納箱の引き出しを壁側にし、利用者が勝手に取れないようにし、利用者が自分の薬の残量を見たいときは、職員に声をかけることで見られるようにしている工夫が良いと感じました。今後も継続していただければと思います。</p>
12	認知症対応型共同生活介護	運営基準	<p>【口腔ケアについて】</p> <p>聞き取りや記録の確認を行う中で、利用者の歯の健康維持に注力していることが伺えました。全員の口腔ケアを管理し、ほとんどの利用者が入所時と口腔衛生状態が変わらない状態を維持できているという点が素晴らしいと感じました。今後も質の高い口腔ケアを行うよう努めていただければと思います。</p>
13	認知症対応型共同生活介護	報酬基準	<p>【介護職員処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の支給方法について】</p> <p>年2回の賞与、給与への組み込みに加えて、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆の期間にも支給している点が大変良いと感じました。聞き取りの中で、「少しでも多く職員に配りたい」、「世間が休日の時に働いている職員に対する感謝の気持ちを形にしている」という事業所の考えを知り、介護人材の確保が課題となっている昨今において、介護人材の離職防止に繋がる素晴らしい取り組みをしているように感じられました。是非、今後も継続していただければと思います。</p>

14	認知症対応型共同生活介護	報酬基準	<p>【介護職員処遇改善加算の支給方法について】</p> <p>介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算について、就業規則に支給方法を明記し、給与明細にも項目として記載されていることを確認しました。この点につきまして、適切に支給されていることが一目でわかるようになっており、素晴らしい工夫であると思われました。今後も継続するようにしてください。</p>
15	認知症対応型共同生活介護	報酬基準	<p>【加算に係る書類の保管方法について】</p> <p>加算に係る書類が個々のファイルに整理されており、内容も必要項目が一目でわかるような書き方になっていて良かったです。とりわけ栄養管理体制加算に係る「食事提供評価報告書」は読みやすく、目標や評価、課題等の把握が明確に行われていて良かったです。この点につきまして、これからも継続してください。</p>
16	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	報酬基準	<p>【サービス提供票について】</p> <p>サービス種別と費用が一覧で記載されており、介護保険と医療保険が同時に算定されないよう、念入りにチェックされていることが聞き取りと書類確認によってわかりました。今後もこうした適正な請求管理を続けてください。</p>
17	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	運営基準	<p>【各職種間での連携について】</p> <p>独自の様式やクラウドを活用し、各職種間や関係機関との連携、情報共有が密にできていることが確認できました。今後も連携と業務効率化の両立ができる取組を進めていただければと思います。</p>
18	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	運営基準	<p>【「在宅患者緊急時カンファレンス議事録及び指導内容」等の独自様式について】</p> <p>独自様式を用いて、①状況説明（懸念事実の共有）、②看護師の気づき・相談・提案、③主治医の見解・提案・判断、④患者・家族の反応・言動、⑤④についての看護師の解釈、⑥結論といった様々な観点から利用者の状況把握、個別サービス計画の見直し、ケアの仕方を検討しており、質の高いサービス提供につながっているように感じました。今後もこうした取組みを継続してください。</p>
19	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	運営基準	<p>安全推進委員会（独自の委員会）を設置し、発生した事例について、対応の振り返り等を細かく行っていることが確認できました。多くの検討・実績を積み上げていくことで、利用者の安心した暮らしにつながると思いますので、このような取り組みを継続していただければと思います。</p>
20	看護小規模多機能型居宅介護	報酬基準	<p>【加算の同意書について】</p> <p>緊急時訪問介護加算や特別管理加算等、利用者の同意が必要な加算について1つの同意書に一覧形式に書かれており、見やすく、利用者一人ひとりがそれぞれ該当する加算にチェックをつける形式がとられていました。良い様式ですので、今後も継続して御使用ください。</p>

E) 令和5年度運営指導総括

今年度の運営指導では共有すべき重大かつ明確な不正は見られませんでした。

サービス提供においては、引き続き利用者とその家族、およびケアチームでのコミュニケーションを積極的に行っていただければと思います。

なお、今年度から運営推進会議が対面開催となり、職員や利用者以外を事業所内に入れる機会が増えてきたと思います。運営改善のアプローチとして、自己点検の他にも、積極的に外からの目を入れることの意義を御確認いただきたいと思います。

このことから、事業所各位におかれましては、制度上求められる取組に限らず、利用者や地域、他事業所とのコミュニケーションやイベント等で、外からの目を入れることについて模索していただければと思います。

また、本市としましても、指摘だけでなく、運営指導の際は良い点も積極的に見つけることで、事業所各位の自信や柔軟な取組につなげ、より良い循環にしていきたいと思っております。

F) 有料老人ホーム等を併設している事業所について

有料老人ホーム等を併設している事業所において、実質的に併設ホーム入居者のみに対してサービス提供を行っている状態は、制度趣旨に沿ったものではありません。

該当事業所におかれましては、介護保険および地域密着型サービスの趣旨に沿って、利用者の住み慣れた家や地域での生活の継続を目指すことを第一とし、地域に開かれたサービスの提供が叶うよう、広く利用者の受け入れに努めてください。

G) 令和6年度運営指導について

令和6年度介護報酬改定に伴い、運営指導においても留意して行う予定です。このことから、事業所各位におかれましては、改定箇所等について十分に御確認いただき、運営に努めていただければと思います。

令和6年度に実施する運営指導は、20件前後を予定しています。対象の事業所には都度お知らせいたしますので、御対応の程よろしく願います。

2. 業務管理体制検査について

① 米沢市による検査の対象事業者

地域密着型(介護予防)サービスのみの指定を受けた事業者であって、かつ当該指定に係るすべての事業所が本市の区域に所在するもの。

② 趣旨

介護保険法第115条の32第1項に基づき、介護サービス事業者による指定取消し事案などの不正行為を未然に防止するとともに、利用者等の保護と介護事業運営の適正化を図るため、事業者に対し、法令等を遵守するための業務管理体制の整備・届出が義務付けられたところ、それらの担保のために検査権限者による定期的な検査を行います。

③ 実施方法

実際の検査の際は、対象事業所の運営指導と併せて行い、業務管理体制の整備・運用状況を下記の項目に係る書類等の点検により実施します。

(ア)業務管理体制の基本方針の策定状況

- ・業務管理体制の基本方針
- ・法令遵守責任者の選任
- ・役職員の役割と責任
- ・事業所への周知方法

(イ)法令遵守責任者の役割及び業務内容

- ・法令遵守責任者の業務に関する認識
- ・法令遵守責任者の自己研鑽の状況

(ウ)その他、法令遵守に係る取組状況

- ・事業所に対する法令遵守に係る検証状況
- ・法令遵守に係る会議、研修会の開催状況

3. 監査について

監査は、介護保険法76条に基づき、通報、苦情及び相談により得た情報あるいは運営指導により悪質な事案・緊急性の高い不正の疑いがあると判断される場合に実施するものです。